

下島(対馬南部)で ケガをしたツシマヤマネコを保護しました

令和5年4月16日、美津島町洲藻の住民の方から「足をケガをしたヤマネコがいる」との通報がヤマネコセンターへありました。頂いた情報をもとに、当日捜索を行いました。発見できなかったため、カメラと捕獲用ワナを現場へ設置したところ、3日後の19日に捕獲成功！ケガにより、左前肢がちぎれてしまいなんとも痛々しい姿でしたが、断脚手術を行い、一命をとりとめました。

保護したMs-108「愛称：Beny Sumo (ベニー スモ)」は、現在ヤマネコセンターで治療を行っています。



写真提供：通報者の方
※画像の一部を加工しています

【発見された時の様子】

検査の結果、ケガの原因はくくりわなによる錯誤捕獲と推察されました。



【治療後の様子】

現在は、ヤマネコセンターで治療後の経過観察中です。

ケガしたヤマネコを放っておくと、感染症にかかったり、エサを獲れずに弱ってしまうなど、命にかかわります。

今回、生きているうちにヤマネコを保護できたのは、通報があったからこそ。もしも様子のおかしいヤマネコを見かけたら、すぐに0920-84-5577 (はよここならせならせ) まで、ご連絡をお願いいたします！

そして、ヤマネコ捜索にご協力いただいた地元住民の皆さま、誠に有難うございました。

24時間ヤマネコ通報対応中



ヤマネコは
耳の後ろに
白い斑があります。

対馬野生生物保護センター(ヤマネコセンター) 0920-84-5577 ※24時間対応

開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時～16時30分(入館は16時まで)

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は開館 翌日火曜日に休館)、年末年始(12月29日～1月3日)

対馬の環 News



ヤマネコステーションツアーを開催しました！

令和5年3月19日に内山盆地の里やまねこ会と環境省の共催で、内山のツシマヤマネコ野生順化ステーション（以下ヤマネコステーション）にて見学ツアーを行いました！普段は非公開のヤマネコステーションですが、一体どんな取り組みをしているのか？是非皆様に知っていただきたいという思いで開催しました。



野生順化ケージ内の散策や、短時間ですが、現在ヤマネコステーションで飼育している「りん」のお披露目も行いました。普段は見ることができない施設や生のヤマネコに、皆様の大きな盛り況！また、このようなイベントを企画したいと思っておりますので、その際は奮ってご参加ください。

新職員のご挨拶

皆様、はじめまして！日本最北端の稚内から日本最北西端の対馬へ赴任してきました柴原です。

みなさんと一緒に日本の自然・文化を守り紡いでいければと思っています。どうぞよろしくお祈りします。

対馬野生生物保護センター
首席自然保護官

しばはら たかし
柴原 崇



みなさん初めまして！2023年5月より対馬野生生物保護センターにてアクティブ・レンジャーに着任いたしました。金子涼太郎です！！東京出身、生き物大好き34歳独身です（笑）。前職は動物病院で動物看護師をしていました。対馬の大自然の素晴らしさに驚嘆の毎日です。どうぞよろしくお祈りします！

対馬野生生物保護センター
自然保護官補佐

かねこ りょうたろう
金子 涼太郎



はじめまして！大分よりやって参りました、千原と申します。新型コロナウイルスに苦しめられた大学生活を送ってきましたが、ようやく収束してきたということで、積極的にイベントや町おこし、ボランティア等々に参加して行きたいです！各所でお会いした際はよろしくお祈りします！

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官補佐

ちはら ゆうと
千原 悠斗



インスタ、はじめました！



対馬野生生物保護センター及び野生順化ステーションのInstagramを始めました！

保全活動の様子や、ここでしか見られないヤマネコの姿などを掲載していますので、ぜひチェックしてみてください！

TWCC2021

トラ吉の追跡調査が終了しました！

前号（95号）で野生復帰をお知らせしたトラ吉（Mh-98）の野生復帰後の経過観察（無事に生きていけているか、治療したところは問題ないか等）を行うために実施していた追跡調査が終了しましたので、お知らせいたします！

トラ吉の追跡調査期間は2022年8月20日～2023年3月11日までの約6ヶ月となり、ツシマヤマネコの交通事故が多発する時期（10～12月）や繁殖シーズン（1～3月）と重なっていたため、道路近くにいる頻度や好んで使用する場所などのデータを得ることができました。今回得られたデータは今後のヤマネコの保全活動に活用していく予定です。

なお、トラ吉は追跡後の検査にて、交通事故によるケガ（骨盤骨折）の状況があまり良くなかったため、治療を行っており、今後については専門家との協議を進めます。

最後に追跡調査地周辺にお住まいのみなさまには、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



トラ吉



移動経路

←追跡調査中のトラ吉の移動の結果になります。

ステーションだより つむぎ・りん、野生順化訓練に奮闘中！



訓練中にアオダイショウの攻撃を避ける「つむぎ」



こちらの2頭が訓練を頑張っています！

つむぎ

りん

現在、ステーションでは福岡市動物園生まれの「つむぎ」と「りん」の2頭のヤマネコが野生順化訓練に取り組んでいます。

“人工哺育・兄弟なし”で育った「つむぎ」は、これまでの訓練個体に比べると、ネズミ類の気配に気付くのが遅れたり、噛み殺しが上手くできなったりと、訓練に苦労していました。アオダイショウ（ヘビ）の訓練にも苦労しており、これまで捕獲訓練を8回行っていますが、捕まえられていません。

一方、“自然哺育・兄弟あり”で育った「りん」は、ネズミ類の訓練は順調でしたが、池の中の魚には興味が薄いようで中々捕獲してくれません。

2頭の訓練は一筋縄にはいきませんが、管理区域での訓練が終われば対馬の自然を再現した広大な野生順化ケージでの訓練となります。1日も早く野生順化ケージ内の森の中を悠然と歩く姿を見たいです。

生き物クイズ

次のうち、ダニが媒介して感染症となるものはどれでしょう？

- ①SFTS（重症熱せい血小板減少症候群） ②日本紅斑熱 ③ツツガムシ病 ④ライム病

答えはウラ（4ページ）をみてね！

動物園でヤマネコの赤ちゃんが誕生！

令和5年4月23日に、名古屋市の東山動植物園でツシマヤマネコの赤ちゃん1頭が帝王切開にて誕生しました！

母親は「レイラ」(No. 89)、父親は「勇希」(No. 83)で、このペアでは2年前に産まれた「さご」(No. 93)、「さすな」(No. 94)に次いで3頭目の赤ちゃんとなります。

これまでの傾向を見ると、同じペアで複数回出産がみられることから、相性はとても重要な要素だと思われ、来年度以降も同ペアでの繁殖には期待が持てそうです。

今後、赤ちゃんは人工哺育となりますが、順調に成長していったらと思います。



性別：メス
名前：したる
(対馬の志多留地区より)

写真提供：東山動植物園

とらやまの森
No. 96

2023
夏号



今回の対馬のあの人この人は…

海街ベーカリー やまうち 山内こうすけ さん
No. 30 日本最北西店



対馬でパン屋さんを始めようと思ったきっかけは何ですか？

「Ghost of Tsushima」という元寇をモチーフとしたゲームがきっかけで対馬を知りました。実際来てみると、とてもいい所で、まだ大学がオンライン授業だったこともあり移住することにしました。

パン屋を始めたきっかけは、小さい頃からパン作りに興味があり、製パンのバイトをしていたことです。

ツシマヤマネコに会ったことはありますか？

夜道を走っていると、鹿やテンにはよく出くわすのですが、ヤマネコはまだ見かけたことがありません。一度対馬野生生物保護センターで見たヤマネコが可愛かったので、ぜひ野生のヤマネコにも出会ってみたいです！

商品のアピールポイントや今後の目標は？

長時間発酵することで旨みのある生地作りをしています。ねこ型食パン、薄塩や鹿肉を使った惣菜パンなど対馬にちなんだメニューも展開していけたらと思います。今後は、供給不足となっている卵やバターが入ってき次第、本格的に営業する予定です。



店舗情報

場所：対馬市上対馬町古里4-2

TEL:080-2658-7668

※当日、営業しているかは、一度、ご連絡ください。



今日の一枚 by 柴原



ヒトツバタゴの花も咲きはじめて4月の晴れた日。青空とは裏腹に風が強く、海には白波が立つような中、首をすくめながら山道を歩いていると足下に紫色の愛らしい花が目に入ってきました。花の名前は「タツナミソウ」。小さな花が集まって波濤を表したかのような形からその名前がつけました。目の前の荒々しい玄界灘の白波と比べて大変優しい白波に春を感じた一日でした。

いきものクイズの答え

正解はすべてです

今からの季節に多く見られるダニですが、病原菌を保有するダニに咬まれるとクイズの問題のような症状に感染してしまう恐れが、！

特に夏場は暑く、薄着になりがちですが、草むらなどに入る際には長袖・長ズボン、虫除けスプレー等、対策を忘れずに！

★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。